

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市国民健康保険運営協議会		
事務局 (担当課)		国保年金課 電話042-707-7023(直通)		
開催日時		令和8年1月22日(木) 14時00分～15時00分		
開催場所		けやき会館2階 大研修室		
出席者	委員	10人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	15人(生活福祉部長、他14人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開会  2 議題 (1) 諮問事項 ア 令和8年度国民健康保険税率の改定について (2) 報告事項 ア 国民健康保険事業令和8年度予算(案)について イ 相模原市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画について ウ 藤野地区診療所再整備基本計画について (3) その他  3 閉会		

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

会議に先立ち、国保年金課長から対面及びWEBによる「ハイブリッド方式」での開催について報告した。

### 1 開会

会長から定刻において出席委員数は10名で、定足数である過半数を充足し、本協議会が成立する旨報告がなされた。

### 2 議題

#### (1) 諮問事項

##### ア 令和8年度国民健康保険税率の改定について

事務局から資料1及び資料1付属資料に基づき、令和8年度国民健康保険税率の改定について説明した。

#### 【質疑・意見等】

(鈴木会長) 今回の税率改定で改定率を7.4%にした理由を伺いたい。

(事務局) 1人当たりの医療費が増加していることもあり、県に支払う国保事業費納付金が増加し、令和8年度国保特会は約19億円の歳入不足が見込まれる。平均14.4%の税率改定が必要となる状況だが、国民健康保険の被保険者は年齢構成が高く、所得水準が低い状況がある。そのため、医療費水準や保険料負担率が高いことから、国保財政調整基金を活用し、7.4%に抑えた。

(鈴木会長) 基金から9億円を取り崩すということだが、基金の財源は、被保険者でない市民の方の税金も充てられているのか。

(事務局) 毎年度、前年度剰余金等と一般会計から基金へ積み立てており、国保税だけでなく、被保険者以外の市民の方からの税金も含めて積み立てている。

(鈴木会長) 国保の財政運営が非常に厳しいことが分かった。将来の財政健全化及び改善に向けて制度改正等の新たな取組を検討しているか。

(事務局) データヘルス計画にもあるように、医療費の適正化を目的として、健康に過ごしていただけるよう取組を行っている。また、保険料水準を県内で統一していくという動きが全国的にあり、神奈川県は令和18年度の完全統一を目標としている。統一した場合、世帯構成及び所得が同じであれば、どの市に住んでいても保険税は変わらず、また、1つの市で医療費が高くなってしまった場合も、市単独ではなく県全体で対応することになる。

諮問事項について妥当であるとし、答申書の作成は会長・副会長に一任された。

## (2) 報告事項

### ア 国民健康保険事業令和8年度予算（案）について

事務局から資料2に基づき、国民健康保険事業令和8年度予算（案）について説明した。

【質疑・意見等】なし

### イ 相模原市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画について

事務局から資料3に基づき、相模原市国民健康保険データヘルス計画の令和6年度の実績について説明した。

【質疑・意見等】

(中野委員) 特定健診受診率の向上及び重複受診者・多剤投薬者対策について、一生懸命取り組んでいても目標に届かないことを改めて認識した。

(陳委員) 令和9年度から行うオンラインでの特定保健指導により、実施率を上げてほしい。

(庄井委員) 特定保健指導実施率について、神奈川県の中で相模原市は高い方だと思うが、全国と比べて低いのは、仕組み等が違うのか。

(事務局) 全保険者の中でも国保の実施率が低い状況であるが、理由は把握していない。令和6年度は、県内国保で比べると18市中、11番目の実施率であり、実施率を上げる必要があると感じている。

後日、事務局から書面により、次のことを委員へ説明した。

⇒全国値は小規模市町村の高い実施率が含まれるため、大規模市町村である本市の実施率と乖離が生じやすいと考えている。本市としては、働き盛り世代が参加しやすい実施方法の見直し等に取り組み、引き続き実施率の向上に努めていく。

(庄井委員) 全国の実施率は、市町村国保全ての保険者の特定保健指導実施率であるか。

(事務局) 市町村国保全ての特定保健指導実施率である。

(庄井委員) 成果指標に「(将来的な) 特定健康診査受診率」があり、特定健診の1番の目標は医療費の削減であると思う。特定健診の受診率が上がるとともに医療費が下がったというデータがあれば受診につながると思うが、そのよ

うなデータを提示するのは難しいのか。

(事務局) データ分析としては、毎年県が分析しており、1回受けた方、2年連続で受けた方、3年連続で受けた方、4年連続で受けた方のデータ分析がある。参考として、未受診者の方は年間医療費が1人当たり66万5千円、1回受けた方は47万5千円、2年連続で受けた方は46万7千円、3年連続で受けた方は42万3千円、4年連続で受けた方は37万6千円という結果になっている。これは令和6年度までの分析であり、令和7年度を含めた結果は来年度公表される。

(事務局) 特定健診の受診回数別の生活習慣病保有者1人当たり医療費については、未受診者の医療費はかなり高いが、回数を重ねると下がってきている現状がある。

(庄井委員) このようなデータがあると、特定健診が医療費削減につながったということが分かりやすく、伝えやすいのではないか。

ウ 藤野地区診療所再整備基本計画について

事務局から資料4-1、資料4-2、資料4-3及び資料4-4に基づき、藤野地区診療所再整備基本計画の策定について説明した。

【質疑・意見等】なし

(3) その他

事務局から追加資料に基づき、国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療制度事務業務委託に関する効果検証の実施について説明した。

【質疑・意見等】

(中野委員) この場で申し上げてよいか分からないが、報道であるような国保の保険料支払逃れ等がないよう願う。同時に、保険制度の重要性を改めて認識していく必要があると考えている。

3 閉会

最後に会議録の作成については、会長及び副会長に一任された。事務局から事務連絡として、次回の運営協議会の予定について報告した。

以 上

## 相模原市国民健康保険運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	飯田 浩司		公募委員	出席
2	瀬間 美夏		公募委員	出席
3	山口 恵子		公募委員	出席
4	山田 眞理子		公募委員	出席
5	陳 勁一	一般財団法人相模原市医師会	保険医等代表	出席
6	中野 史郎	一般財団法人相模原市医師会	保険医等代表	出席
7	庄井 和人	公益社団法人相模原市歯科医師会	保険医等代表	出席
8	佐藤 克哉	公益社団法人相模原市薬剤師会	保険医等代表	欠席
9	鈴木 道士	相模原商工会議所 神奈川県社会保険労務士会	公益代表	出席
10	中牟田 好江	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	公益代表	出席
11	篠塚 実希子	相模原市自治会連合会	公益代表	出席
12	大貫 君夫	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	公益代表	欠席